

東中だより



公立学校共済組合
東海中央病院
Tokai Central Hospital

令和7年3月 第9号



AYA week 2025 in 東中

2025.3.8(土)～
3.16(日)

**AYA世代(15～39歳)の“がん”の
「今まで」と「これから」を考える一週間。**

今知ること、変わることがある。

AYA世代にも“がん”があります。

勉強、恋愛、遊びや働き方・・・

生き方の選択肢が広がり、変化が大きい世代だからこそ、
いろんな可能性がある。

がんを経験してきたあなたも、

診断を受けて、これからどうしようと考えているあなたも、

そして、今、がんとは接点のないあなたも。

知ろう、一緒に。AYA世代の“がん”のこと。

AYA WEEK 2025 in 東中 メッセージは次のページへ

AYA week 2025 in 東中メッセージ ... 2・3/4

緩和ケア内科・緩和ケアチーム

AYA week 2025 in 東中

消化器外科のメッセージ 4/4

東海中央病院が胃癌学会

「認定施設B」に認定されました 4/4



AYA week 2025 in 東中

AYA世代(15～39歳)の“がん”の「今まで」と「これから」を考える一週間。

「最期まで自分らしく」過ごせるようサポートします。

がんになったとき、からだや心の苦痛を和らげる治療やケアがあることを知っていますか？

緩和ケア病棟は、がん患者さんの苦痛を取りのぞき、患者さんが「最期まで自分らしく」過ごせるように支援する場所です。全病室個室となっており、家族と過ごすことができるスペースも整備されています。私たちは患者さんと家族が可能な限り患者さんの希望に添った生活が送れるように支援し、ご家族と患者さんが穏やかで温かい時間を過ごせることを大切にしています。

緩和ケア病棟 スタッフ一同



診断期からの緩和ケア

AYA世代は、学業、就職、恋愛、結婚、出産など、様々なライフイベントが集中する時期です。「がん」という病気がかかえ、将来に対する不安や孤独を感じている人も少なくありません。「緩和ケア」と聞くと、終末期に関わると思われる方もみえるかもしれませんが、決してそうではありません。

私たち緩和ケアチームは、治療と並行しながら、AYA世代の患者さんやご家族が抱える身体の辛さや不安悩みなどが少しでも軽減できるよう支援していきたいと思っています。何か気になることがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

緩和ケアチーム スタッフ一同

私たちは、AYA がん患者さんのサポーターです！

AYA世代とは15歳から30歳代までの世代を指します。がんは高齢者に多い病気ですが、AYA世代もがんになることがあります。がんと診断されると、若い世代に特有のさまざまな悩みや問題に直面します。

がん治療による副作用のこと、治療による外見の変化のこと、妊孕性（妊娠するための力）のこと、治療にかかる費用のこと、仕事との両立のこと、家事や育児のことなど・・・さまざまな悩みや問題を抱えながら治療を受けることとなるため、体のつらさだけではなく、心にも大きな負担がかかります。

当院緩和ケア内科では、AYA世代のがん患者さんお一人お一人の個性を大切に、その人の悩みに寄り添いながら、体の苦痛、心の苦痛、社会や家庭に関する苦痛などの全人的苦痛の緩和に努めています。

AYA世代の患者さんが、がん治療を行いながらも、その人らしく暮らせるようなサポートを行っています。がんと診断されている若い世代の患者さん、そのご家族の方も、ぜひお気軽に緩和ケア内科外来にご相談ください。

緩和ケア内科 スタッフ一同

お薬を通して支えます

薬剤師は、おくすりを通して、AYA世代のがん患者さんが安心して治療を受け、日常生活が送れるよう支えます。

治療中はいろいろな不安があると思います。治療中の不安がなくなるよう薬物療法や副作用の説明を行っています。薬物療法中のお困り事がありましたら薬剤師に相談ください。あなたらしく生活が送れるようサポートします。

薬剤部 スタッフ一同



専門知識を習得したスタッフが患者さんに寄り添い、サポートしていきます。

外来化学療法室では、大腸がん、乳がん、肺がんの方を中心に年間約450件の抗がん剤治療のサポートをさせて頂いています。抗がん剤治療で一番心配なことは副作用のことだと思います。副作用は使用する薬剤によって様々な症状が出現しますが、予防方法もあります。予防することで副作用がかなり軽減できます。外来化学療法室では、専門の知識を習得したスタッフ6名が患者さんに寄り添い、少しでも気持ちが軽くなれるようにサポートしていきます。

心配なこと、不安なことがあればいつでもお気軽にご相談ください。

外来化学療法室 スタッフ一同

歩みを、理想の歩みへ

生活環境が一変するなか、求められる身体機能の維持・障害の軽減を図り、活動性の高い生活が送れるよう、理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士が介入します。また身体機能・日常生活動作に関わる訓練と並行し心理・社会復帰の支援等、起こりうる課題の変化に応じた適応支援や家族への支援を含め、多職種と協働しつつリハビリとしての役割を担います。

リハビリテーション科 スタッフ一同



AYA week 2025 in 東中 消化器外科のメッセージ

不安や悩みがあれば、遠慮なくご相談ください。

消化器外科は、消化器（胃や大腸、食道、胆嚢、胆管、膵臓、十二指腸など）がんの診療を行っています。消化器は食事に関わる重要な臓器であり、食事は日常生活の中でも楽しみ・喜びに繋がる大切な時間です。その大切な時間を守るよう、努めています。消化器外科では、病状に合わせて手術や化学療法、緩和ケア治療まで、がん治療を担当します。がん治療の中でも、手術は特に不安に感じられる患者さんが多いと思います。闘病中も患者さんが不安なく治療を受けられるよう、力になりたいと考えています。不安や悩みがあれば、遠慮なくご相談ください。

消化器外科 スタッフ一同

東海中央病院が胃癌学会「認定施設B」に認定されました

このたび、東海中央病院は日本胃癌学会より「認定施設B」に認定されました。

日本胃癌学会は、質の高い胃癌治療を広く社会に提供するために、2023年4月より施設認定制度を発足しました。この制度では、胃癌に対して手術・内視鏡治療・抗がん剤治療などの分野で一定以上の実績や人員、設備を持ち、高度で専門性の高い胃癌治療に対応可能な施設のみが認定されます。当院がこの制度に基づき認定を受けたことは、これまでの診療体制や実績が評価された証といえます。

日本では胃がんの罹患率は減少傾向にありますが、依然として重要な疾患であり、早期発見と治療が患者様の予後を大きく左右します。

また、胃がん治療は高い専門性とチーム医療が求められるため、専門施設での診療が推奨されています。

当院では、専門医や多職種チームが連携し、内視鏡治療、外科手術、化学療法といった幅広い治療法を患者様一人ひとりに合わせて提供しています。

また、治療後のフォローアップにも力を入れ、患者様の生活の質(QOL)向上に努めています。

今回の認定を受け、さらに地域の皆様に信頼される医療を提供できるよう努力してまいります。これからも患者様にとって最適な医療を目指して邁進していく所存です。

■日本胃癌学会ページ

詳しくは学会ホームページをご覧ください。

<https://www.jgca.jp/>